

設問

[問い1] 今度、下ら どんな質問ができますか

- 1) 20年間ホテル業界で働いてきたこと、自身についてどのような思い出がありますか?
- 2) 正直やりたくはないなと思うことは、どうしてですか?
- 3) 今井さんにとって「評価されろ」とはどういうことでしょうか?
- 4) こういうものが仕事にたまるたかという印象をもらったことはどのようなことですか?
- 5) 今井さんにとって「やりがい」とはどのようなことでしょうか?
- 6) 動画編集をされたように、下らのほうはどうしてですか?

[問い2] 良かった点と悪かった点 (各2行)

良かった点

事例IのCCt8 (相応しい・相応しくない)

理由: 相談者の「今の仕事を辞めて転職しようか」と悩む気持ちに寄り寄り、寄り寄り傾聴したことで「自分の天職では無い」と感じる現職への思いを伺えた点。

悪かった点

事例IIのCCt9 (相応しい・相応しくない)

理由: 相談者の現職への思いや好きなこと、得意なこと等、相談者の背景や考え、気持ちを聴くことを優先したため、転職の話まで展開できなかった点。

[問い3] CLの主旨

冒頭では「今の仕事を辞めて転職しようか悩んでいい」とのことから、お話を伺っていいと40才という年齢を節目と感ず、何か新しいことをした方がいいかなと思いはじめた」との発言があり、自己理解不足が見受けられる。また、仕事者である動画編集員について「こういうものが仕事にたまるたか」という印象をもらった」との発言から、動画制作の仕事や転職について仕事理解不足が現時点の主旨と思われる。

[問い4] 今後の展開 (今後どうせぬか)

ホテル業界で20年間働いてきた相談者と寄り寄り寄り寄り信頼関係を構築する。そのうえでキャリアの棚卸しを行い、40才という年齢、好きなこと、得意なことについて整理する。そして人生において大切にすることが、仕事の価値観について内省を促し自己理解を深めていく。(2) 得意なこととして挙げた動画編集を仕事として転職する場合に考えられることを挙げていき、必要に応じてjobtag等の情報提供を行う。最終的にはメリットデメリットも考慮した上で転職を意思決定できるよう支援する。